

i-PRO mini 無線トラブルシューティング

2022年1月

Panasonic i-PRO Sensing Solutions Co., Ltd.

■ 初めに

本書では、i-PRO mini 無線LANモデル（WV-S7130WUX）の運用時におけるトラブルシューティングの情報についてお知らせいたします。

- ・設置編
- ・運用編

※無線LANモデルは周囲の環境（物理的環境、及び無線環境）の影響で電波状況が変わる可能性があるため、常時接続を必要とする要件には適しません。

常時接続を満足する要件の場合は有線モデルを使用することをお勧めします。



■ 設置編

カメラと無線ルーターの接続を行う場合、QRコードをカメラで読み取る必要があります。

QRコードの読み取りに失敗する場合の要因、対応内容について記載します。

トラブル内容	LEDランプ（赤・緑）の状態	想定要因	対応内容
QRコード読み取りにて無線LANに接続できない	QRコードが読み取れない ・緑のLEDランプがゆっくり点滅（約1秒間隔）から赤のLEDランプの点滅に変わる場合	カメラとQRコードの距離が近すぎる/遠すぎるため QRコードが読み取れない	カメラとスマホの最適距離は30cm～50cmになります。 その距離内で近づけたり、離したりしてください
		カメラレンズとスマホのQRコードの表面に光が反射してQRコードが読み取れない	光の反射が入らないようにカメラ、もしくはスマホの角度を調整してください
		情報量が多く、QRコードが細かくなり読み取れない	無線ルーターのSSID/ネットワークキーの文字数を少なくし、QRコードを再作成してください。
		カメラの撮像モードが4:3モードに設定されている （QRコード読み取りは撮像モードが16:9時のみ動作します）	INITIAL SETボタンによる初期化（取説基本編）、または16:9モードに変更後にもう一度お試しください。
無線LAN接続できない ・緑のLEDランプがゆっくり点滅（約0.2秒間隔）から赤のLEDランプの点滅に変わる場合	無線ルーターとの距離が遠い	無線ルーターの近く（半径2m以内）で行ってください	
	無線ルーターの状態がおかしい （電源が入ってない、ルーター側の動作がおかしい）	無線ルーターを再起動してください	
	無線ルーターの暗号化方式設定がカメラの仕様と合っていない	WPA/WPA2の暗号化方式を使用してください	

■ 運用編

カメラと無線ルーターの接続後にネットワークが切れる場合の要因、対応内容について記載します。

トラブル内容	想定要因	対応内容
配信が途切れる場合がある 配信画像がカクつく (緑LEDが点滅)	無線ルーターとの電波状態が悪い (電波状態が悪い場合、緑LEDの点滅周期が早い)	近くに電波干渉を引き起こす電子機器が無いか確認してください。 特に電子レンジが近くにある場合は2.4GHz帯への電波干渉が大きいので、5GHz帯を使用することをお勧めします。 無線ルーターとカメラの距離が遠い、また遮蔽物が無いか確認してください
	カメラが使用しているCHが他の無線機器のCHと重複している	無線ルーター側で使用頻度の低いCHを指定してください (WiFi Analyser などを使用する)
	1台の無線ルーターにつながるカメラ台数が多い	カメラのビットレート/フレームレートを落としてください 無線ルーターを増設し、1つの無線ルーターにつながるカメラの台数を分散させてください
ネットワークが切れ、再接続できない (赤LEDが点滅)	無線ルーターとの電波状態が悪い (電波状態が悪いほど点滅周期は早い)	近くに電波干渉を引き起こす電子機器等(電子レンジなど)が無いか確認してください 無線ルーターとカメラの距離が遠い、また遮蔽物が無いか確認してください
	無線ルーターの電源が切られている	無線ルーターの電源を確認ください 無線ルーターを再起動してください
	カメラが使用しているCHが他の機器のCHと重複している	無線ルーター側で使用頻度の低いCHを指定してください。 (WiFi Analyser などを使用する)
	無線ルーター再起動でIPアドレスが違うものが振られている ※赤点滅はしない	無線ルーターのDHCP設定をOFFにする (カメラのIPアドレスを固定で運用する)
	無線ルーターからIPアドレスが振られない (DHCP設定時)	無線ルーターの再起動を試してみてください
カメラ再起動後にレコーダに登録したカメラのIPアドレスが入れ替わっている	DHCP設定にてIPアドレスが振り分け直されたことで入れ替わっている	無線ルーターのDHCP設定をOFFにする (カメラのIPアドレスを固定で運用する)

iii-PRO